

湊 小 学 校



平成29年(2017年)2月号

学校長 小谷 雅之

酉年(とりどし)も、アツという間に2月(まさらぎ)に!

新年、おめでとうございます。と挨拶してから早やひと月が経過しました。旧年中はいろんな面で応援してくださり誠にありがとうございました。本年も、引き続き御協力の程よろしくお願い致します。

さて、3学期になり、子どもたちもようやく冬休み気分から脱出でき?、学校生活を送っています。3学期は、学年のまとめの学期であり、新たな学年に向け、学習や本読み、それからなわとびにも取り組んでいます。

“より良い湊小をつくるためのアンケート結果”速報の一部

昨年12月には、保護者アンケートへのご協力有難うございました。その結果については2月ごろ、あらためて各家庭にお知らせします。今回は、昨年度と比較して、特に、数字に目立って変化のあった項目を中心に書かせていただきます。

【低学年】

- ①「ともだちとなかよくしている」は、「とても思う、まあ思う」を合わせると数%増加しています。 [以下、割合は、「とても思う」と「まあ思う」を合わせた数字です。]
- ②「まいにちのべんきょうがよくわかる」も、約70%から18ポイントも増加しています。
- ③「だれにでもあいさつができる」は、約78%から85.3%まで増加しています。
- ④少し気がかりなのは、「いえのひとに学校のことをよく話す」が、「あまり話さない」も含めて約20%、5人に1人があまり話さないということになります。

【中・高学年】

- ①「学校が楽しい」は、昨年度同様で97.1%あり良い傾向ですが、残りの3%も気になるところです。
- ②「そうじを一生けんめいしている」が、約7ポイント増加し、実際に頑張っています。
- ③「学校が美しく整っていて、過ごしやすく使いやすい」は、昨年度より約19ポイント増加して、85.5%になっています。
- ④低学年にもありましたが、「家族に学校での出来事をよく話す」は、「あまり話さない」も含めて約28%で、4人に1人があまり話さないということになります。

【保護者】

- ①「学校はわかりやすい授業をくふうしている」では、「まあそう思う」も含めて、72.4%ですが、昨年度より約12ポイント減少しているのは残念です。
- ②「子どもに生命を大切にす心や社会のルールを守る態度を教育している」は、80.2%から91.4%へと約11ポイント増加しています。
また、子どもの様子について聞いたアンケートでは、
- ③「学習内容が分かり、基礎的な学力が身についている」が、86.6%から76.2%へと減少しています。

全体の項目を見てみると、上記以外については、昨年度と比較して、それほど大きな変化はありません。低・中・高学年とも「毎日の勉強がよくわかる」では、約90%が「そう思う」と答えていますが、保護者からの①③の結果を見ると、昨年度より約10ポイントの減少があり、残念に思います。今後も、工夫した解りやすい授業をさらに進めていく必要があるし、基礎的な学力も身につけられるよう、家庭での学習習慣の定着のための協力も得ながら、努力していきたいと思ひます。

